# 令和３年度　青梅市立河辺小学校　学校経営方針

校　長　　関谷　　望

**「予測困難な時代」を生きる子供たち**
生産年齢人口の減少、グローバル化、技術革新、社会構造・雇用環境の激変
「Society5.0」

**新学習指導要領の理念**
自ら課題を見付け，自ら学び，自ら考え，判断して行動し，実現する。　⇒「生きる力」

**本校の教育目標**

| | |
|---|---|
| ○ねばり強い子ども | 健康で明るい心身を目指し、目標をもって根気強く努力する（自主性） |
| ○すすんで学習する子ども | 基礎的・基本的な学力を身に付け、試行錯誤をしながら、課題解決に取り組む（調整力） |
| ○仲良くする子ども | 自らを肯定的に捉え、他者を尊重し、認め合い支え合う人間関係をつくる（自他尊重の精神） |

**目指す児童像**
自他尊重の心をもち、主体的に学び続ける児童　　『自主創造』

**学校経営方針（目指す子供像を実現するために）**

**「向上心」とその基盤となる「自己肯定感」を育む**

**向上心**：よりよい自分、よりよい学級、よりよい学校を目指す気持ち

**向上心が表れる姿＝「一人一人が輝く」**
「自己の成長を目指し、生き生きと活動する姿」

- 児童一人一人が「今の自分よりも一歩でも前進し「よりよい自分」「よりよい学級」を目指して、学習や生活に取り組む。
- 全教職員が、現在よりもさらに「よりよい学校」「よりよい授業」を目指して教育活動改善や授業力向上に努める。
- 児童や教職員が向上しようとする姿で、保護者や地域の信頼を得る。

**自己肯定感**：「ありのまま」の自分を認め、自分に自信をもつ気持ち

**自己肯定感を高められる学校＝「楽しい学校」**
「ありのまま」を受け入れ、認め励まし、成長を支える環境」

- 全教職員が、一人一人の児童の「ありのまま」を受け入れ、認め励まし、成長を支援する。＝「ほめて伸ばす」
- 教職員一人一人が、自身の力を十分に発揮し、自信をもって教育活動に取り組める環境をつくる。
- 保護者や地域に教育活動の意義を発信し、理解や協力を得る。

「どうせ、自分なんて…」
「やってもできない…」
「自信がない…」
「失敗したらどうしよう」

「やればできる」
「自分には価値がある」
「挑戦してみよう！
「失敗してもまた頑張ればいい」

**目指す学校像**
**一人一人が輝く、楽しい河辺小学校**

**学校経営方針　具現化のための４つの柱**

- **学力向上と主体的な学びの推進**
- **豊かな心の育成**
- **家庭・地域との連携**
- **特色ある教育活動の充実**

**【重点とする活動】**

| | |
|---|---|
| **【学力向上と主体的な学び】**<br>**～各教科の「見方・考え方」にふれる楽しい授業～**<br>○河辺小授業スタイルの推進（問題解決型授業により、学ぶ楽しさや成就感を味わわせる）<br>○学習規律の徹底（話し方「はい・立つ・～です」や聞き方「背・目・手」など）<br>○一単位授業の質的向上（「なぜ、いつ・何を、どのように」学ぶかの明確化）<br>○河辺ドリル、補充的な取組の充実（ステップアップクラスなど）<br>○家庭学習の習慣化（宿題の定例化、家庭学習強化週間、ＮＯテレビ・動画・ゲームディの設定　等）<br>○学習環境整備（学習支援員など人的環境の効果的活用等）　等々 | **【豊かな心の育成】**<br>**～自他尊重の精神の育成～**<br>○「ハートフル河辺プラン」=人権教育の充実<br>「自分大好き・友達大好き・学校大好き・河辺小の子」○「特別の教科　道徳」の授業の充実<br>○学級・学年経営の充実（子供と教師、子供同士の人間関係を深める）<br>○自主性を育む特別活動（児童会活動・学級活動・縦割り班活動など）<br>○規範意識を育む生活指導の充実（いじめの未然防止・早期発見・早期対応　等）<br>○「河辺しぐさ」の徹底（元気にあいさつ・はきはき返事・目で聞き、心で聞く・もくもく清掃・靴そろえ・ちょボラ・いつでもありがとう）　等々 |
| **【家庭・地域との連携】**<br>**～適切な情報発信・情報共有～**<br>○適時的・適切な家庭・保護者への情報発信（各種便り・ホームページ・学校メール配信　等）<br>○学校公開や保護者会の工夫（コロナ禍でも実施できる工夫）<br>○各種のアンケートの教育活動改善への活用（学校評価アンケート、児童による授業アンケート、保護者等への各種行事等のアンケート等）<br>○丁寧な連絡・相談（保護者と相互に報告・連絡・相談する関係づくり）　等々 | **【特色ある教育活動の充実】**<br>**～持続可能な河辺小の伝統的活動へ～**<br>○体育・体育的活動の充実（体育朝会、縄跳び大会、マラソン大会の実施　※コロナ対応で実施可否検討<br>○オリンピック・パラリンピック教育の充実<br>（「オリ・パラスポーツ教室」運動に親しむ態度や目標にむかって努力する生き方を体感させる）<br>○青梅学の推進（青梅の自然・歴史・地域・文化・施設を学ぶ活動「愛鳥モデル校」の活動。）<br>○特別支援教育の充実（「ことばときこえの教室」「くわのき」の活用<br>○小中一貫教育の推進（霞台中との連携）　等々 |
| **【創立５０周年への取組】**<br>・**記念式典、記念誌作成、記念行事等の事業**を実施<br>児童にとってはもちろん、教職員・保護者・地域・卒業生等、河辺小学校に携わる全ての人にとって思い出深い、河辺小を誇りと思える活動となるよう努める。 | |

**新型コロナウイルス感染症対策**

基本方針：「３つの健康を守る」

身体の健康　：感染予防対策の徹底

（児童・教職員の毎日の健康観察、手洗いの励行、「３密」や「飛沫」を避ける、消毒の実施、「ガイドライン（国・都・市）」に沿った教育活動　等々）

心の健康　：不安や負担の軽減

（感染症等への児童の不安への心のケア、無理のない教育計画）

社会的な健康　：社会的活動の中での成長の機会の確保

（刻々と変化する状況下で、「現時点の最善手は何か」を常に検討し、児童が達成感や所属感等を充足し、成長する機会の確保への努力。差別・偏見・いじめ・うわさ話や病気に関わる冗談、他者を揶揄する表現　等への人権感覚づくりと毅然とした指導）

*「全校児童を全教職員で育てる」*

**【保護者の皆様へのお願い】**

**○「心身ともにベストコンディションで登校を」**

学校の教育活動は「午前中」に多くあります。「朝から元気！」が、学習効果の向上にも、精神面や友達関係の安定にも大切です。

特に「十分な睡眠」と「朝ごはん」をとらせての登校にご協力ください。

**○「困ったこと、疑問に思ったことは、気軽にご相談ください」**

お子さんのことで、困ったり悩んだり等何かあった時には、まず担任（または教科担当、養護教諭、コーディネーター、学校スタッフ、管理職　等々）にご相談ください。

**「チーム河辺小」で、子供の成長のために力を尽くしてまいりましょう！**